

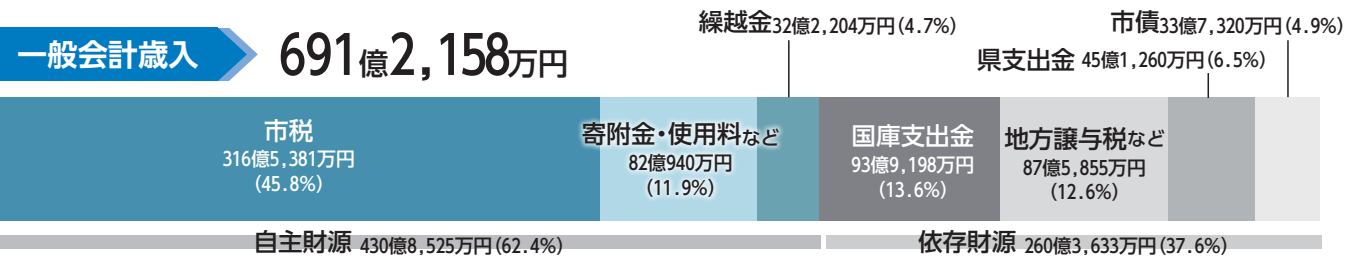
令和5年度 西尾市の決算

5年度に納められた税金などが、まちづくりにどのように使われたのかをお知らせします。詳しくは右のコードで確認できます。
問財政課(Tel65・2166)

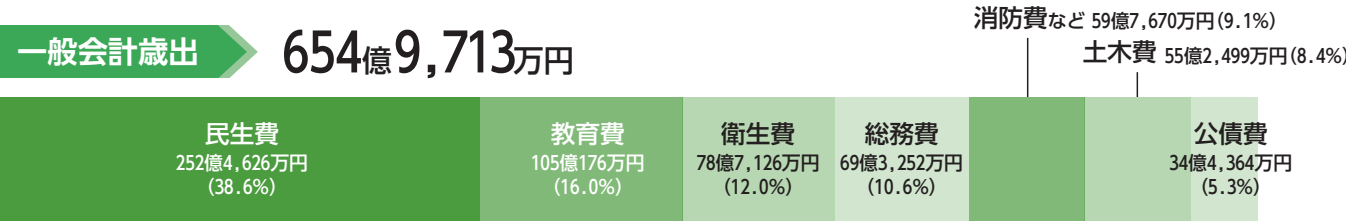


1 いくら収入があって、いくら使ったの？

税金や国からの交付金などの市の収入額(歳入)は、約691億円でした。社会保障や学校教育、道路や公園のインフラ整備など、市が公共サービスを提供するために使った金額(歳出)は、約655億円でした。歳入と歳出の差額約36億円は、次の年に繰り越して使います。



歳入は、4年度と比べて約18億円増加しました。主な理由は寄附金や使用料が増加したからです。特にふるさと納税は積極的に情報を発信した効果で、過去最高額となる約25億円の収入を達成しました。



歳出は、4年度と比べて約14億円増加しました。主な理由は公共施設の老朽化に対応したからです。文化会館や学校施設の改修工事など、先送りできない事業に支出しました。

▶ 企業会計決算

企業会計は、地方公営企業法の適用を受け、市が経営する事業です。西尾市には4つの企業会計があります。

会計名	歳入 (収益的収入)	歳出 (収益的支出)	一般会計からの 繰入額
病院事業	89億3,191万円	96億5,450万円	19億7,394万円
水道事業	34億5,884万円	30億6,241万円	2億4,482万円
下水道事業	38億9,212万円	38億638万円	17億4,190万円
渡船事業	1億5,294万円	1億5,440万円	80万円

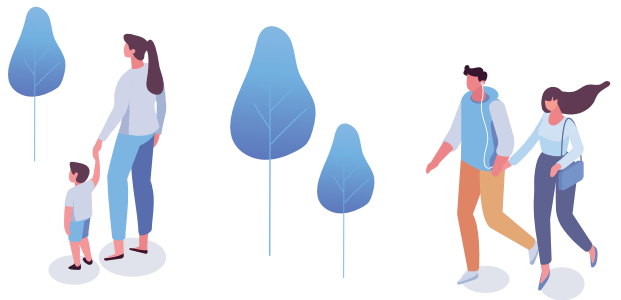
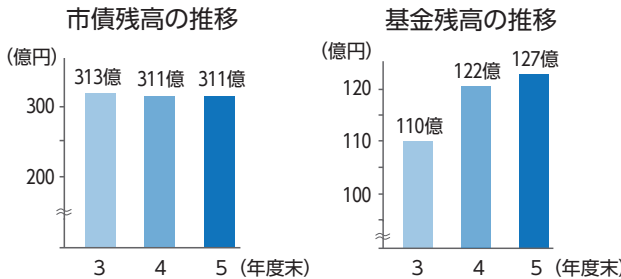
▶ 特別会計決算

特別会計は、特定の目的に使うためそれぞれの歳入で運営する事業です。西尾市には4つの特別会計があります。

会計名	歳入	歳出	一般会計からの 繰入額
国民健康保険	157億6,920万円	153億2,600万円	11億812万円
介護保険	126億5,843万円	121億6,708万円	18億7,599万円
後期高齢者医療	25億6,853万円	25億5,475万円	3億8,503万円
佐久島診療所事業	5,053万円	3,868万円	500万円

▶ 市債・基金残高

市債は、市の借金にあたるものです。主に公共施設や道路などの建設財源に使われます。基金は、市の貯金にあたるものです。5年度末時点で財政調整基金(約65億円)など15基金を設置しています。



市民1人当たりのお金の使われ方
(1人当たりの合計金額 38万5,454円)

費目名	具 体 例	金 額	4年度からの増減額
民生費	福祉、子育て、医療助成など	14万8,576円	1,324円
教育費	学校教育、社会教育など	6万1,804円	9,334円
衛生費	健康づくり、ごみ処理など	4万6,323円	△4,015円
総務費	一般事務、税の徴収など	4万798円	△1,902円
土木費	道路などの整備・維持管理など	3万2,515円	3,221円
公債費	市の借金返済	2万266円	362円
消防費	消防・救急活動など	1万3,164円	1,773円
商工費	商工業・観光振興など	8,846円	△3,557円
農林水産業費など	農林水産業の振興、議会運営など	1万3,162円	2,203円

※6年4月1日現在の人口(16万9,922人)で計算

私たちの生活に必要な支出がライフステージによって変動するように、市の歳出も「いま必要な分野とその金額」によって、そのバランスや規模が変わります。長期的な視点で未来を見据え、より多くの市民が幸せに暮らせるまちづくりを目指しています。

主な事業

文化会館の大規模改修工事



施設・設備の老朽化により、5年度と6年度に大規模改修工事を実施。大ホールの座席幅を広げるほか、舞台音響や照明設備を刷新。1/4(土)にリニューアルオープン予定

未来共創拠点設置事業



中小企業の持続可能な経営や市内での起業・創業、中心市街地でのまちづくり活動支援のため、無料の経営相談窓口・西尾未来共創拠点「ニコラボ」を設置

2 市の財政状況は、安心できる状態？

安心できます。西尾市の財政状況は国が定める指標を上回るものはなく、財政は健全です。国が定める指標の解説は、次のとおりです。

▶ 財政力指数

標準的な行政サービスに必要な財源を、自力で準備できるかを表しており、1を超えれば財源に余裕があるといえます。5年度は、0.938でした。これは、県内54市町村中23位で、他自治体と比較しても問題ない数値です。

▶ 企業会計資金不足比率

企業会計資金不足比率（資金の不足額÷事業規模）は、比率が高いほど資金不足であることを表します。西尾市は、全ての企業会計で資金不足がありません。



▶ 健全化判断比率

(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)

健全化判断比率は、数値が高いほど財政状況が悪化していることを表します。西尾市は、全ての指標で国の定める「早期健全化基準」を下回るため、財政は健全であるといえます。

指 標	内 容	結 果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.51%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	16.51%
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	1.6%	25.0%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債（借金）の割合	数値なし	350.0%